

震災で家族を失った自衛隊員と少年。喪失が照らす二人の再生の物語。

だからこそ、私たちは生きていく――。

前川泰之 竹島由夏

黄川田雅哉 出合正幸 水橋研二 伊藤つかさ 宮本真希 半井小絵 齋藤優聖

羽場裕一 内田朝陽 辰巳琢郎 徳重聡 大地康雄

脚本・監督：柿崎ゆうじ（「闇が落ちる」）

プロデューサー：柿崎ゆうじ 前田茂司 井上和彦 ラインプロデューサー：青田貞也 キヤスティングプロデューサー：山口正志  
音楽：西村真吾 撮影：松本貴之 照明：佐藤健介 録音：小清水建治 編集：神谷朋 音響効果：柴崎憲治  
自衛隊監修：樋口憲一 助監督：松本博  
製作協力：アカデミーエンターテインメント ビーチクインターナショナル  
協力：防衛省 制作プロダクション：楽映舎 企画・製作：カートエンターテイメント  
配給：SARACHIKA PICTURES

2025年 / 122分 / シネマスコープサイズ / 3.1ch ©2025 Kart Entertainment Co., Ltd.



Kart  
Entertainment Co., Ltd.



映倫  
番号



# 東日本大震災から15年 — 喪失の先にある再生の物語

前作『陽が落ちる』で武士の妻、夫婦の覚悟に焦点を当てた重厚な人間ドラマを描き、高い評価を得た柿崎ゆうじ監督が、新たに挑むのは“喪失”と“再生”の物語。

『陽が落ちる』でも忘れがたい存在感を残した前川泰之が、津波で妻と幼い娘を失いながら任務に立ち続ける自衛隊員・春日三尉を、静かな力を秘めた演技で息づかせる。舞台は東日本大震災の被災地。避難所支援に従事する春日は、深い痛みを抱えながらも、人々と正面から向き合う日々を過ごしていた。そんな中で出会うのが、両親を亡くし心を閉ざした少年・吉村和樹。立場も年齢も違う二

人だが、失ったものの大きさは同じだった。静かな日常の積み重ねのなかで、春日は少年に、少年は春日に、寄り添いあうようにして再び“生きる力”を取り戻していく。

本作は、陸上自衛隊の全面的な協力のもと、震災当時の現場に限りなく近い緊張感と空気感を映像に刻み込むことに成功した。過酷な現実の只中であっても、確かに存在する希望を描き出す、人間の再生をめぐるヒューマンドラマである。



震災の被災地に派遣された自衛隊員の春日三尉。

自身も津波で妻と幼い娘を亡くしていたが、春日はそれを隠して任務に身を捧げていた。そんな彼が避難所で出会ったのは、同じく家族を喪い、心を閉ざした少年・吉村和樹だった。

やがて和樹は、自衛隊の活動を静かに見つめながら、自ら人々を助ける行動を始める。

絶望の底で出会った二人が、希望を信じて歩き出す—。

喪失を越えて生まれる“再生”の物語。

## 宣言

脚本・監督：柿崎ゆうじ（陽が落ちる）

前川泰之 竹島由夏

黄川田雅哉 出合正幸 水橋研二 伊藤つかさ 宮本真希 半井小絵 齋藤優聖

羽場裕一 内田朝陽 辰巳琢郎 徳重聡 大地康雄

製作協力：アカデミーエンターテインメント ビータックインターナショナル  
協力：陽南舎 制作プロダクション：東映舎 企画・製作：カートエンターテインメント  
配給：NAKACHIKA PICTURES

2025年 / 122分 / シネマスコープサイズ / 5.1ch © 2025 Kart Entertainment Co., Ltd.

公式サイト：[sensei-film.jp/](http://sensei-film.jp/) 公式SNS：[@kakizaki\\_films](https://twitter.com/kakizaki_films)

Kart  
Entertainment Co., Ltd.